



平成29年4月28日
海上保安庁

明神礁付近海面で気泡の発生を確認

(ベヨネース列岩東北東)

4月27日午後3時51分から午後4時5分の間、当庁羽田航空基地所属航空機M A725により、明神礁の火山活動の観測を行いました。その結果、明神礁付近の海水面に気泡が多数発生していることを確認しました。

【調査結果】

- ・ 明神礁付近の海水面に気泡を確認。
熱画像によると、気泡が確認された場所は周辺に比べて低温。低温部は4ヶ所あり、そのうち気泡が顕著な2ヶ所は直径30～50mで分布。
- ・ 変色水は視認されず。

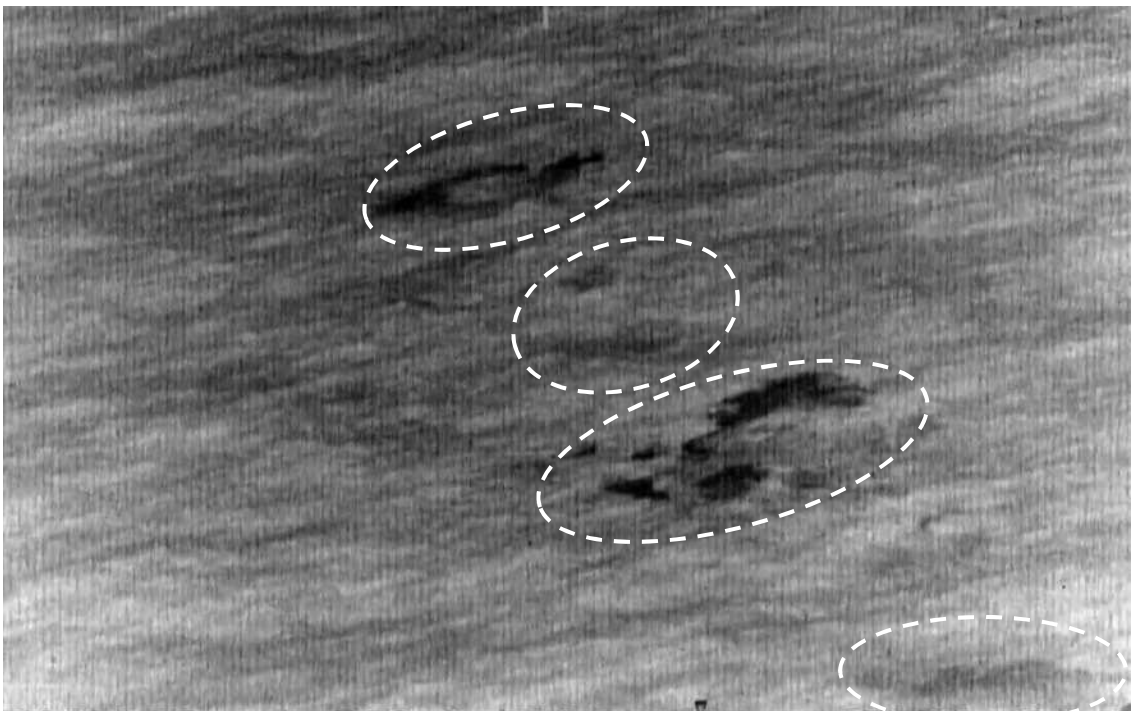
同乗した東京工業大学火山流体研究センターの野上健治教授からは、「明神礁の山体深部にマグマの貫入(上昇)があった可能性が高く、マグマからの脱ガスが進んでいると思われる。気泡の発生によって海底付近の低温の海水が湧昇流となっていると考えられる。変色水は認められていないが、火山活動は継続しており、注意が必要である。」

とのコメントが得られました。

引き続き、航行警報により付近航行船舶に注意を呼びかけています。



明神礁付近の気泡の様子（4月27日撮影）



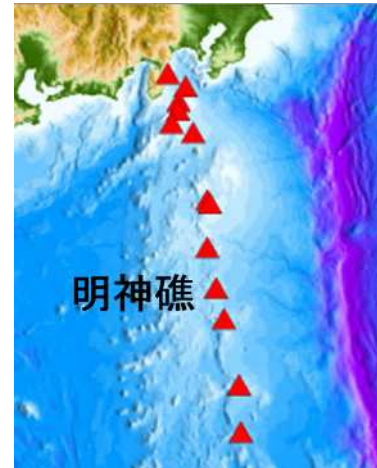
熱画像（黒く見える部分が低温部）（4月27日撮影）

【参考1】

- ・平成29年3月25日を最後に変色水は確認されていない。

【参考2】 明神礁について

- ・東京の南方約400kmにある海底活火山。
頂部の水深は約50m。
- ・度々噴火を繰り返しており、昭和27～28年には大噴火した。



明神礁の位置